

2023 ISK 奈良阪奈シリーズ競技規則書

赤字アンダーバー表記は2022年からの変更点になります

競技規則

1) 参加資格

- ルールやマナーを守れる事を前提とし、株式会社 ISK の定める競技規則に基づいて開催されます。
心身共に健康な方で、「安全」と「楽しさ」を追求出来る方、「非難しない」「中傷しない」「怒らない」の3原則を守れる方ならどなたでも参加できます。
※ルール・マナーを守れない方の参加はお断りさせていただきます。
- 競技で使用する車両を安全に運転でき、ルールとマナーを守れる方。
- ISK グループサーキットを走行したことがある方。
- 株式会社 ISK が認めた方。

2) 大会内容

- 競技内容は以下の通りとします。

| | 競技内容 | 時間 (分) |
|---|------------|--------|
| 1 | フリー15分予選1周 | 15分+1周 |
| 2 | 決勝レース | 120分 |

- 尚、各セッションの競技時間に関してはエントリー状況や天候などの諸状況を加味し、大会本部の決定により変更する事があります。
- 変更があった場合はレース前、当日ドライバーズミーティング時に通達します。

3) 2023 ISK 奈良阪奈シリーズ開催予定日

| | 開催日 |
|-----|--------------------------|
| 開幕戦 | 3月19日(日) ハイスピードコース |
| 第2戦 | 5月14日(日) テクニカルコース |
| 第3戦 | 7月9日(日) ハイスピードコース |
| 第4戦 | 9月3日(日) テクニカルコース |
| 最終戦 | 11月12日(日) コースは第4戦終了時くじ引き |

4) 参加申込

- 申し込み開始日
申し込み開始日は事前にホームページにて発表します。
- 申し込み方法
エントリーはインターネットフォームによる先着順とします。
エントリーフォームは、ホームページに記載します。

(3) 受付チーム数

募集チーム数 13チーム。※準備できる車両台数により変更する場合があります。

(4) レース成立台数 6チーム以上

5) 参加費

(1) 1チーム 22,000円 (保険代1,000円込)

(2) 参加費は全額を開催1週間前までに支払いをお願いします。

支払方法は振込、現金又はクレジットカード、PayPay、aupayが可能です。

振込み手数料は参加者負担となります。

クレジットカード、PayPay、aupayでのお支払いはISKポイントの付与はありません。

(3) ネットエントリーと参加費(予約金2,000円又は全額)を支払った時点で、エントリー完了となります。

(4) 振込先

| |
|---|
| <p><振込先> 銀行名：浜松いわた信用金庫(金融機関コード：1503) 支店名：西山支店(支店コード：034) 口座：普通 0620332 口座名義：株式会社 ISK ★お振込みされる場合は、必ずお名前の後ろにイベント開催日を入れて下さい。 例：カンサイタロウ 0310</p> |
|---|

(5) キャンセルについて

① エントリーをキャンセルする場合はキャンセル料が発生します。

② 返金はキャンセル料金の差額を店頭にて返金します。

③ 振込みでの返金を希望される場合は更に振込手数料を差し引いた金額を返金します。

| | |
|------------------|------|
| ●キャンセル料金● | |
| ※保険代は返金出来ません。 | |
| 大会当日の15日前まで | なし |
| 大会当日8日前まで | 10% |
| 大会当日前日まで | 50% |
| 大会当日 | 100% |

6) 大会スケジュール

| | |
|-------------|-------------------|
| 9:00~10:00 | 受付・レース前講習(初参加者対象) |
| 10:00~10:30 | ドライバーズミーティング・車両抽選 |
| 10:40~11:10 | フリー&予選 |
| 11:30~13:30 | 決勝 |
| 14:00~14:30 | 表彰式 |

7) チーム規定

(1) シリーズポイントは成立台数に関わらず順位に応じて与えられ、シリーズ賞の対象となります。

(2) チーム名は10文字以内で、記号はなしでお願いします。

(3) 車両ゼッケン番号はシリーズランキング順とし、新規チームはエントリー順となります。

(4) 各チームのドライバー登録は2~3名です。

※チーム員の変更は可能ですが、ドライバー全員が未登録の場合は新規チームとなります。

(5) シリーズの表彰はシリーズポイントランキングにより、対象となるチームに賞品を授与します。

賞品の授与は、1チーム3名までとし、3戦以上参加したドライバーに限ります。

8) ドライバー規定

(1) 走行時の服装

肌の露出がなく運転に支障をきたさないと競技長に認められた服装（バイザー付きヘルメット・長袖・長ズボン・手袋・運動靴）であればレースへの参加を認めます。

（レーシングスーツ又は、それに準ずるツナギ推奨）

※アームカバー、レッグカバーでの参加は、クラッシュ時のけがのリスクを考慮し本年度から禁止とします。

(2) 装備品レンタル

① 装備品はレンタル用品に限りがある為各自持ち込みとします。

② 装備品が準備できない場合はレンタルを行うが先着順とします。

③ レインコート・サインボード・ストップウォッチの貸し出しはありません。

(3) 競技参加に対する遵守事項

① 競技参加者は、ドライバーズミーティングに必ず出席してください。

② 火気の使用禁止、指定場所以外での喫煙は禁止です。

9) 走行時のルール

① ドライバーは定められたコースのみを使用しなければならない。

② 並走でコーナーに入った車両同士の場合、お互いの走行ラインを尊重し、相手のラインを妨げないこと。

③ 不可抗力を除く、トラック上での停止もしくは一時停止をしてはならない。

④ オフィシャルの指示で車両から降りた場合には速やかにバリアの後ろに入り安全を確保すること。また、コース内ではヘルメットを脱がないこと。ドライバーはオフィシャルの許可なくトラックを横断しないこと。

⑤ 黄旗中や赤旗中の減速が不十分でスピン、接触、クラッシュする行為、またはそれらを誘引、誘発する行為、及びそれらを引き起こす恐れの高い行為をしてはならない。

⑥ スピン・コースアウト後におけるコース復帰の安全確認を行わない行為または、スピン・コースアウト等の後、現場をさらに危険な状況にする行為をしてはならない。

⑦ 赤旗が表示された場合は十分に減速しオフィシャルの指示に従う事。

⑧ 暴力行為・暴言行為、ドライバーを妨害する言動を含む行為に対しては、本シリーズ規則によるペナルティのみならず、出場停止等の処置も行う。

⑨ 競技に参加するすべてのドライバーは規則書を必ず熟読し、安全に対して最善の注意を払うこと。

⑩ 参加者同士で走行中に接触等があった場合、接触したされたに関わらず、走行後すぐにお互い謝る勇気を持つこと。

10) ウェイト規定

開幕戦・・・チームの平均ウェイトを 70kg に設定する。(女性は 60kg 計算とする。希望の場合は計測可)

※上限は 14kg。

2 戦目以降・・・ポイントランキング 1 位 10Kg 2 位 5Kg

11) 使用カート

- ① ドライバーズミーティングにおいて使用カートの選択を行う。選択順はゼッケン順にくじを引き決める事とする。
- ② 選択したカートはフリー走行・予選・決勝スタート時の車両となる。
- ③ トラブル等により走行に支障をきたすと競技長が判断した場合、車両交換を命じる場合がある。

12) フリー走行・予選

フリー走行、予選

フリー走行 15 分 予選 **各チーム代表による 1 周タイムアタック**

- ・開幕戦は 70kg 統一のチームウェイト
- ・2 戦目以降シリーズハンデのウェイト

※連戦で同じドライバーが予選タイムアタックをできない。

例：A さん B さんでチームを組んだ場合、第 1 戦 A さんが予選アタックドライバーの場合、第 2 戦は B さんが予選アタックドライバーとなります。A さんが連続してアタックドライバーをすることは禁止します。

13) 決勝レース

(1) スタート方法

1 列隊列でのローリングスタート。

(2) フォーメーションラップ

- ① フォーメーションラップはスタートに向けて隊列を整えることを目的としている為追い越しは禁止とし、1 列隊列で全車との距離は出来るだけ詰めて走行すること。
- ② フォーメーションラップ途中でスピン等によりスタート順位の位置を保てなかった車両は(車両トラブルを除く)、他車を抜かずに最後尾を走行するものとする。
- ③ スタート旗は、競技長により合図される。スタート旗が振り下ろされたタイミングがレースのスタートとなるが、各車はスタートラインを通過するまでは他車を追い越してはならない。
- ④ フォーメーションラップ中に隊列が整っていない等の問題が生じた場合、フォーメーションラップの継続を行う事がある。

14) 競技中について

(1) 走行中、コース内において車両が停止してしまった場合、復帰する際に後方車両の走行を妨害してはならない。

(2) クラッシュ、トラブル等により自走出来なくなった場合はオフィシャルにより車両救出を行う。オフィシャルの到着までは車両から降りない事とし、トラブルによる車両交換の場合はオフィシャルの指示に従うこと。

(3) 走行中のアクシデント等により他の車両の走行に支障をきたすと競技長が判断した場合、車両交換またはリタイヤを命じる場合がある。

(4) クラッシュ等により、走行が困難でレースを安全に遂行することが出来ないと判断した場合、競技車のペースをコントロールするためにセーフティーカーを導入する。

コースオフィシャルからSCのボードが提示された時は速度を落とし、前の車両を追い越してはならない。

セーフティーカー解除はコントロールラインからグリーンフラッグが振られ、一列のローリングで再スタートする。

コントロールラインを通過してから追い越し可能。

(5) 悪天候等でレースを中止する場合がある、その場合レース時間の80分を経過している場合はその時点での最終結果とする。80分未満の場合は後日延期とし、延期日を発表する。

(6) レース運営、安全管理を車両救出、修理よりも優先して行うため、救出作業、修理に関する抗議は受け付けない。

15) ドライバー交代について

(1) ピットイン・ピットアウト

①ピットインをする際は、ピットロード入口までに後続車に対し**右手**を挙げてピットロードに入る合図をし、ピットロード内はバリア等に接触、クラッシュしないように走行すること。

②コースインする際はピットアウトレーンを守り右手を挙げ、コース走行車両に対し合図を行い、ピットアウトレーンを過ぎてから安全確認を行いコースに合流すること。

※P I Tイン・アウトレーン共にコース走行中のカートよりレーン走行中のカートが優先になります。

P I Tイン及びアウトしようとしているカートの走行を妨げるとペナルティの対象となります。

(2) ドライバー交代 (全てプッシュアウト)

①レースがスタートし10分経過後からレース終了10分前までに5回以上のドライバー交代(プッシュアウト)が義務付けられる。

※同じドライバーが続けて走行する事はできない。

③ドライバー交代は、ピット内のドライバー交代エリアに停車している車両のみ可能とする。2台以上の車両が並んでいる場合はドライバー交代エリアに停車するまで車両から降りずに待機すること。

④ドライバー交代での停車時間は60秒とし、ドライバー交代エリアに停車してから計測を開始する。

(3) ドライバーの最大運転時間

①一人のドライバーの連続運転時間は、10分以上30分未満とする

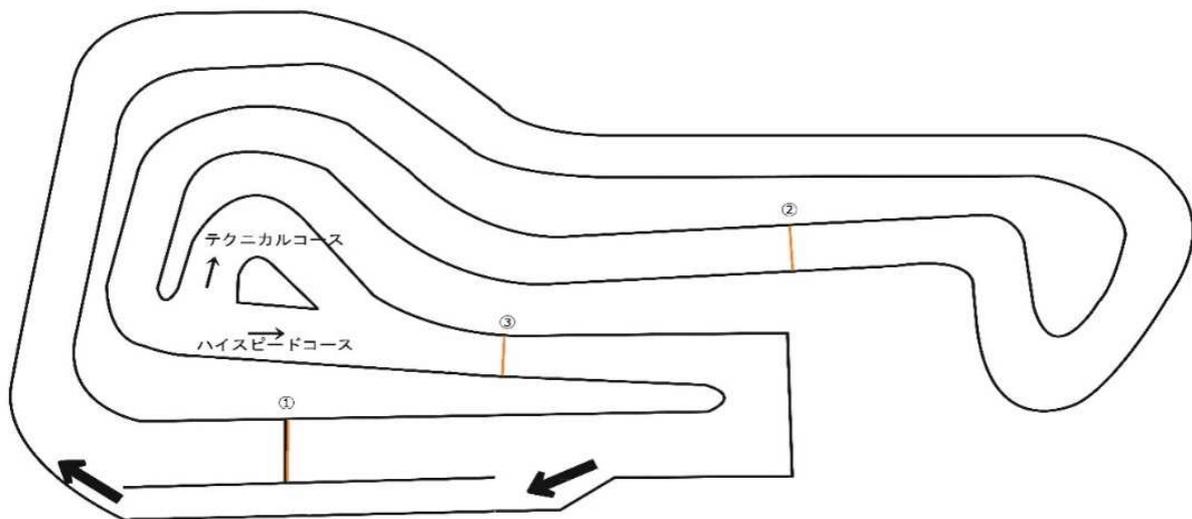
②残り10分を切った時点でピットロードを走行している車両、交代待ちの車両に関してはピットイン、ドライバー交代を認めるが、連続乗車時間違反となる。

(4) SC中のピットアウトについて

SC導入中のピットアウトの際、SCが最終コーナーから、2コーナーを過ぎたコカ・コーラ看板の区間を走行している時はピットアウト出来ない。

16) 黄旗について

黄旗解除は以下の3か所



17) 車両交換について

- (1) 車両交換の決定は競技長が行う。
- (2) 車両交換エリアからスタートする場合のドライバー交代エリアでのドライバー交代は可能。
- (3) ドライバー交代を行わない場合でも必ずドライバー交代エリアで、一時停止すること。
- (4) 予備車の選択は出来ない。

18) ドライバーとの意思伝達

- (1) 無線機器の使用禁止

チームとドライバーとの意思伝達に関して、音声機器を使用した通信を禁止とする。

最終戦のみ無線機器の使用を認めます。但し無線機を使用する場合は、Bluetooth 機器、若しくはイヤホン等に接続された電話等のヘルメットに固定でき運転中操作しない物に限ります。

トランシーバ等の無線電波を使うものはオフィシャルの無線と混線する為使用禁止とします。

また、オフィシャル無線の傍受を防ぐ為、施設内への無線機の持ち込みは禁止します。

19) 競技中使用される旗

(1) 日章旗

競技スタートを合図する。

(2) チェッカーフラッグ

競技終了。チェッカーフラッグを受けた後は安全に走行し、追い越しや接触、スピンしないこと。

(3) 黄旗

危険箇所あり。安全に通過すること。黄旗区間中の追い越しや接触、スピンはペナルティの対象となる。

(4) 赤旗

競技中止。直ちに減速し、オフィシャルの指示に従うこと。

(5) 黒旗

ペナルティ。ピットに入れ。車両ゼッケンも同時に提示する。

(6) 緑旗

競技再開、及びタイムトライアル開始。コントロールラインを通過するまでは追い越し禁止。

20) シリーズポイント

(1) シリーズポイント

決勝レース順位に応じてポイントを与え、ポイント数に従ってシリーズ順位を決定する。

(2) ファステストラップポイント

決勝でファステストラップを出したチームに下記のポイントが与えられる。

| |
|-----|
| 1 位 |
| 1 |

(3) 決勝ポイント

決勝レースにおいてレース順位によりそれぞれ下記のポイントが与えられる。

| | | | | | | | | |
|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 | 6 位 | 7 位 | 8 位 | 9 位 |
| 25 | 20 | 15 | 12 | 10 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| 10 位 | 11 位 | 12 位 | 13 位 | | | | | |
| 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |

(4) シリーズ順位

シリーズ順位の決定は、次の通りとする。

- ①全戦の獲得ポイントを集計し、最も獲得ポイントの多いチームをシリーズチャンピオンとする
- ②複数のチームが同点の場合、以下の方法で決定する。

1 位の回数が多い順⇒1 位の回数と同じ場合、2 位の回数が多い順⇒3 位の回数

以上の方法でポイントが同じ場合は、最終戦の順位で決定する。

21) ペナルティ

(1) ペナルティの実行

- ①レース中のペナルティについては、コントロールライン付近でペナルティを示す黒旗と車両ゼッケンが提示された時点で実行される。
- ②ペナルティを受けたチームは速やかにピットインし、一旦停止線で停止後、ペナルティエリアで停止する。
- ③規定のペナルティストップ時間中にペナルティ内容の説明を受け、ペナルティストップ時間経過後、競技に復帰する。
- ④ペナルティのためにピットに入った場合、ドライバー交代は出来ない。
- ⑤全てのペナルティはSC中には課さない。レーススピード中に課す。
- ⑥全てのペナルティは競技終了3分前を過ぎてからは周回数減算とする。減算する周回数は記載なき場合1周とする。
- ⑦競技中の最終ジャッジは全てオフィシャル、競技長により決定する。競技に対する抗議・異議・申し立ては一切受け付けない。

(2) ペナルティの内容

①フライング ※15秒ストップペナルティ

競技開始時や競技再開時にコントロールラインを超える前に前の車を追い越した場合

②ブロッキング・プッシング・走路妨害 ※ペナルティストップ 15秒

ブロッキング・・・追い越そうとしている車両がいる時に、故意にラインを閉めて走行に影響をあたえた場合及び接触した場合。又はストレートでの大きなライン変更。

プッシング・・・後方より前車両に追突し、前車両の走行に影響を与えた場合または故意に接触したと判断した場合。

走路妨害・・・故意的に蛇行走行したと判断した場合

PIT イン・アウトレーン走行中等の優先車両等を妨害した場合

③コースショートカット ※ペナルティストップ 15秒

故意にコース外を横断したとオフィシャルが判断した場合。

コースよりも更に内側（コース外）に入り、追い越した場合。

④安全確認義務違反 ※ペナルティストップ 15秒

スピン・コースアウト・ピットアウト等の後、コースに復帰(合流)をする際、危険な行為をしたとオフィシャルが判断した場合。コース上でスタッフの指示なくカートから降りた場合。

⑤ピットイン・アウトライン違反 ※ペナルティストップ 15秒

ピットイン・アウトラインを片側前後どちらかのタイヤがラインを越えコースに侵入した場合。

※最終コーナーアウト側のピットインレーンは、濡れている場合、及び砂が浮いている場合を除く

その場合はレース当日競技長によりドライバーズミーティングで通達します。

⑥ピットロード安全義務違反 ※ペナルティストップ 30秒

ピット内のタイヤバリア、パイロン、カート等、ピット内のあらゆるものに接触した場合。

ピット内の停止場所にて停止しなかった

ピット内でタイヤロック・スピンをした場合や速度が速すぎると競技長が判断した場合。

⑦ピット内一旦停止違反 ※ペナルティストップ 15秒

停止の意志はあったが、停止線を越えてしまった場合。停止する際タイヤロックをした場合。

⑧交代遅延行為 ※ペナルティストップ15秒

ドライバー交代の際、指定停止時間を経過しても乗車準備等の影響でスタート出来ず、後続車に影響を与えた場合。

⑨交代違反 ※交代回数は1回につき5周減算 乗車時間違反はペナルティストップ15秒

10分未満でドライバー交代を行った場合。連続して30分以上走行した場合。レース開始してから10分未満とレース終了10分切った状態でドライバー交代を行った場合。

120分間の耐久で競技終了残り10分を経過した時点でドライバー交代を規定回数以上行っていない場合。

⑩服装違反 ※服装を直し次第、コースへ復帰

ヘルメット顎紐の締め忘れや服装等の違反。

※ドライバー交代等でPITイン後に発覚した場合は15秒ペナルティ

安全を考慮し顎紐の閉め忘れ等の疑いがある場合、競技中であっても停止・減速を命じる場合が有ります。

⑪徐行制限違反 ※ペナルティストップ60秒（競技終了3分前を経過してからは3周減算）

追越禁止区間、チェッカー後において追い越し・スピン・コースアウトした場合。

また、危険個所を通過する際に速度が速いとオフィシャルが判断した場合。

⑫フラッグ無視 ※ペナルティストップ60秒（競技終了3分前を経過してからは3周減算）

オフィシャルが提示しているフラッグを無視した場合

⑬フォーメーションラップ違反 ※最後尾グリットに降格 そのままスタートした場合ペナルティストップ15秒

フォーメーションラップ中の追い越し、スピン、コースアウト、徐行違反等があった場合

（スピン、コースアウト、徐行違反等があった場合該当者はオフィシャルの指示に従う事）

⑭フリー走行 予選時の違反行為

前項②～⑫の項目は、フリー走行・予選時にも適用される。

※③, ⑤, ⑦, ⑧項違反は3グリット降格（3グリット降格出来ない場合はレースタイムに10秒加算）

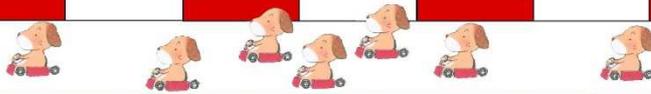
※②, ④, ⑥, ⑩, ⑫項違反は予選タイム抹消、PITスタートとする。

PITスタートのチームが複数台いる場合、予選タイムに関わらずゼッケン順でのスタートとします。

22) 失格

以下の場合、失格となる場合がある。

- ①ドライバーズミーティングにチーム全員が不参加の場合。
- ②繰り返し他の参加者を危険に晒す行為を行った場合。
- ③スポーツマンシップに反する行為だとオフィシャルが判断した場合。



走行におけるマナーとルール

～ISKサーキットで楽しく安全にレース(走行)する為のお願い～

1. **接触は非常に危険で大きな事故につながる可能性が高いので、それを避けるための最大限の努力をしてください。**
相手にケガをさせる可能性(接触の可能性)がある場合は、**無理をしない勇気を持ってください。**また自分のミスによって**他のカートと接触をしてしまった場合は、必ず走行終了後に相手に一言謝る**ようにしてください。
2. **コーナーを走行している時は、ラインの変更や減速などによる危険回避が非常に難しいため先入優先です。**先にコーナーに差し掛かった人に優先権があります。但し、他のカートと**併走してコーナーに差し掛かった場合は、接触を避ける為そのカートが走行できるスペースをお互いに残して走行**してください。
3. **前車に接近しているときはその車がミスをして急激に失速する場合がありますので、接触を避けるために常にブレーキを踏む、又はアウト側(場合によってはイン側)に避けることが出来るよう準備を心がけてください。**
4. **走行ラインを変えるときは、ラインを変えたい方向に他車が接近していないか確認をしてから動くよう注意してください。**
特に3台以上でバトルをしているときは、**思わぬところに他のカートが居る場合がありますので注意**してください。

※レースではここに記載されている以外の行為でもペナルティの対象となる場合があります。

| | | | |
|----------------------|--|----------------------|---|
| <p>OK</p> | <p>ストレートでの進路変更</p> <p>青カートのノーズ(フロントバンパー)が赤カートのリアバンパーに並んでいない時は、赤カートは青カートの前への進路変更はOK! 少しでも青カートのノーズが並んだ時は青カートの前への進路変更はNG! 但し、ストレートで青カートに追い越されないように赤カートが蛇行運転することは危険行為となる。 蛇行運転とは抜かれないように2度以上青カートの進路を歪ぐこと。</p> | <p>赤カート優先</p> | <p>コーナー進入時の場合</p> <p>コーナーに進入する際、青カートのノーズが赤カートのリアバンパー以上前に並んでいない場合、赤カートが優先となる。 青カートのノーズが赤カートのリアバンパー以上前に並んでいる場合は、赤カートは青カートが走行出来るスペースを確保して走行しなければならない。 但し、基本的にはコーナーに進入する際、先入車優先と考える。また赤カートが曲がり始めた段階で青カートのノーズが赤カートのリアタイヤに並んだ場合、並んでいないと判断する。</p> |
| <p>赤カート優先</p> | <p>コーナーリング中の場合</p> <p>コーナーリング中、赤カートのリアタイヤより前で青カートのフロントタイヤが並んでいない場合は、赤カートの優先とする。 青カートのフロントタイヤが赤カートのリアタイヤより前で並んでいる場合、赤カートは青カートが走行できるスペースを確保して走行しないといけない。 タイヤ同士の接触は非常に危険です! お互いに無理しないように走行しましょう!</p> | <p>赤カート優先</p> | <p>コーナー出口の場合</p> <p>コーナー出口で青カートのリアタイヤより前に赤カートのフロントタイヤが並んでいる場合、青カートは赤カートがアウト側で走行できるスペースを確保しないといけない。 青カートのリアタイヤより前で赤カートのリアタイヤが並んでいない場合、コーナー立ち上りの優先は青カートとなる。 青カートのドライバーにとってアウト側は非常に確認しづらいので、青カートは無理せず赤カートのスペースを確保して走行することが望ましい。</p> |

追い越しは、追い越す側が十分に安全を確認して下さい!